

【小施策評価(平成30年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

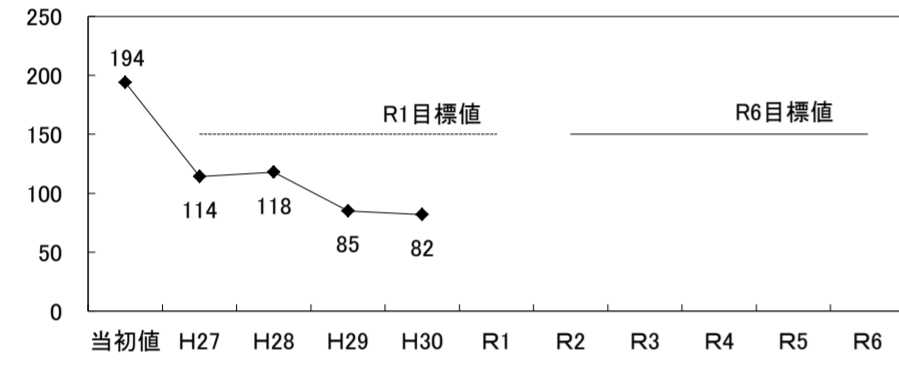
基本目標	1	人がいきいきと暮らすまちづくり	小施策 主管課等	子ども青少年課	
施策	2	子ども・子育て、若者への支援	評価 責任者	佐久山 久美子	内線 691-6411
小施策	2-6	児童・青少年の健全育成	評価 シート 作成者	加藤 勝	内線 691-6412

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	⇒	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
家庭環境や大人社会のあり方を改善しながら子ども・若者の健やかな成長を図るため、豊かな人間性の育成、基本的な生活習慣の形成、学力・体力の向上等の取組を実施する必要がある。		一人ひとりの個性を伸ばし、心豊かで逞しい児童・青少年の育成を図る。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	⇒	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
子ども		健全育成が図られる。

小施策の成果指標の達成状況・評価(平成30年度実績)

実績値の推移				実績の評価	
指標① 補導件数	単 位	目指す方向	成 果 点	⇒	成 果 の 要 因 分 析
当初値 (H25) 194	人	↓	・少年センターの街頭巡回において、多くの子どもたちに声をかけることで、少年非行の未然防止と早期発見に結びついた。		・繁華街、駅、公園、遊技場など非行や不良行為が行われやすい場所を重点的に巡回し、少年非行の未然防止と早期発見に努めたため。
R1目標値 150			問題点	⇒	問題の要因分析
R6目標値 150			・困難や悩みを抱える少年の現状が見えにくくなり、インターネット利用から犯罪に巻き込まれる事案も増加している。		・スマートフォンが普及し、インターネット利用が低年齢化している一方で、インターネットの弊害についての理解が十分に進んでいない。



今後の方向性(令和元年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R1年度着手済または着手予定 ☆…R2年度以降の着手を検討
★ 出前講座の開催などにより、インターネット利用の弊害について普及啓発を図る。	